

様式 8

「学校」部門

# 河川基金助成事業

「高見の海 調査隊」

報告書

助成番号：2022-7211-030

広島県尾道市立高見小学校  
校長 富保 直子

2022 年度

助成番号	助成事業名			学校名		
2022-7211-030	高見の海 調査隊 ※「高見の川 調査隊」から変更			尾道市立高見小学校		
所在地	〒722-0073 広島県尾道市向島町 2116-3	対象河川名	干汐海岸・立花海岸・段入川			
対象学年	第3学年（17人）		主たる教科	総合的な学習の時間		
河川教育の目標	<p>探究的な見方・考え方を働かせ、ふるさと高見の海に関わる横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高見の干潟と磯の保全に関わる人・もの・ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、高見の海の過去と現状の特徴やそれぞれの良さ、人々の工夫や努力によって支えられていることについての概念を捉えるとともに、探究的な学習の良さを理解できるようにする。</li> <li>2) 高見の干潟と磯の保全に関わる人・もの・ことに関わる中から問いを見出し、その解決に向けて予想や仮説を立て、情報を集め、整理・分析しながら考察し、自分が思い描く未来の高見の干潟と磯についての提言を、根拠を明らかにしながらまとめ表現することができるようにする。</li> <li>3) 高見の干潟と磯の保全に関わる人・もの・ことについての探究的な活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを活かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、進んで毎日の環境保全活動に参画しようとする態度を養う。</li> </ol>					
育成したい資質・能力	<p>(知識・技能)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①高見の海には季節ごとに様々な生き物が棲んでいること、季節によって棲む生き物の大きさや数も違うこと、そしてそれらと環境との関わりについての概念を形成することができる。</li> <li>②地域の人々との関わりから、地域に貢献したり、向島の環境を守ったりするために関わっている人々の思いや願い、工夫や努力を知ることができる。</li> <li>③自分たちが地域とつながり、地域の人々と関わり合いながら過ごしていることについての自分の思いを持つことができる。</li> <li>④課題の解決に向けて、事象を関連付けること、比較すること、分類すること等ができる。</li> <li>⑤干潟と磯の生き物の様子や環境を比べたり、季節ごとの違いを比べたりしながら観察・記録することができる。</li> <li>⑥探究的な学習の良さを理解することができる。</li> </ol> <p>(思考力・判断力・表現力等)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①海の環境をよりよくするための活動に向け、課題を設定することができる。</li> <li>②予想を基に解決の方法や手順を考え、見通しを持って計画を立てることができる。</li> <li>③保護者や地域に向けて発信するために必要な情報を追加収集・蓄積し、問題状況や関係を把握することができる。</li> <li>④多様な情報から課題解決のために特徴を見つけ、自分の考えの根拠となる情報を選択することができる。</li> <li>⑤相手意識や目的意識を持ち、他教科で学んだことを生かしながら分かりやすくまとめ表現することができる。</li> </ol> <p>(主体性)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①探究的な活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを見直そうとすることができる。</li> <li>②自分の意思で、目標を持って課題解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。</li> <li>③探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や希望を持つとすることができる。</li> <li>④探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとするすることができる。</li> <li>⑤自他のよさを生かしながら協力して課題の解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。</li> <li>⑥探究的な活動を通して、進んで地域や実生活の問題解決に取り組もうとしたり、地域に関わるために活動に参画しようとしたりすることができる。</li> </ol>					
<b>学習活動の内容と成果</b>						
<p>本校は段入川という小さな川が注ぐ干汐漁港のすぐ近くに位置している。付近には干潟や磯となっている海岸があり、干潟は潮干狩り場や海水浴場として活用されている。干潟でも磯でも多様な生物を観察することができるが、近年は様々な要因により生態系が変わったり、魚介類を初めとして個体数が減少したりしている。段入川についても防災の観点から護岸工事がなされ、生き物の姿はほぼ見られない。また、潮干狩りや海水浴場という特性上、ごみについても課題がある。</p> <p>こうした現状について、磯や干潟での生態調査を通して児童が体感した。特に今年度は例年に比べクワガタが非常に多かったことに日常的に海とふれあっている児童が気づき、ゲストティーチャーである広島大学附属臨海実験場の方々からも海水温が高くなっていることが原因として考えられることを聞いた。なぜ生き物が減っているのか。なぜ海水温が高くなっているのか。それらの疑問から、児童自身が「高見の海をもっと豊かにしたい」「もっときれいにしたい」という思いを児童一人一人が主体的に持った。そして、干潟と磯のそれぞれの生態についての情報を集め、昨年度までと比較・分析することを通して、そのようになっている要因について根拠を元に考察するとともに、地域に住む自分たちや観光客のそれぞれができることについて考えをまとめ、表現していった。</p>						
学びの創意工夫点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ問題については、本校が毎年実施している干汐海浜清掃と関連付け、環境を守るために地域の方々普段からきれいにしてくださっていること、こうした活動は自分たちもできることに気付かせた。</li> <li>・株式会社サラヤと連携し、自然由来の洗剤を使ったり、材料として使うための木を植林したりするなど、海水温の上昇を防ぐためにできることに気付かせた。</li> </ul>					
河川教育を通じて見られた子どもの変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海や海に生息する生き物について調べるだけでなく、そのことから、水を通して人と海に関連する環境問題について課題意識を持ち、課題解決のためにできることを実践しようとする一人一人の意識が高まった。</li> <li>・水生生物の生育状況と水資源の環境、それを取り巻く暮らしの変化を関連付けて児童一人一人が主体的に考えることで、それぞれの概念を形成することができた。</li> <li>・児童が探究的な活動を通すことで、水や海を取り巻く環境の様々な問題や実態を実生活と置き換えたり、他教科・他学年とのつながりを意識しながら思考・判断したりする力がついた。</li> <li>・高見の海の未来について、各教科の既習事項から自分なりの表現方法を用い、具体例を挙げながら書く力が付いた。</li> </ul>					
<b>支援者等（複数記入可）</b>						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関（博物館、資料館）等		関係団体（漁協、農協）等		企業	その他
支援の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島大学附属臨海実験場と連携し、6月、11月、2月それぞれについて、立花の磯の生き物の生態について調べる活動について協力をいただいた。</li> <li>・株式会社サラヤや地域の方をゲストティーチャーにお招きし、立花の海ばかりでなく地球温暖化に伴う海水温の上昇とそれによる生態系への影響、私達ができることについて授業をしていただいた。</li> </ul>					
成果発表	成果作品			発表方法		
	調べたことをまとめた小冊子			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級での成果報告</li> <li>・学校の本棚掲示</li> </ul>		
<b>今後の課題・展開</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度までの生態と比較することはできたが、塩分濃度と海水温による生態系にはどのような関係があるかまでは十分に検証できなかった。今後、干潟、磯、段入川河口などの定点観測を続けることで、より客観的なデータを集め、検証することが可能である。</li> </ul>						

・キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。

1.助成事業名	高見の海 調査隊 ※「高見の川 調査隊」より変更		学校名	尾道市立高見小学校			助成番号	2022-7211-030		
2.河川教育の目標	<p>探究的な見方・考え方を働かせ、ふるさと高見の海に関わる横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>1)□高見の干潟と磯の保全に関わる人・もの・ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、高見の海の過去と現状の特徴やそれぞれの良さ、人々の工夫や努力によって支えられていることについての概念を捉えるとともに、探究的な学習の良さを理解できるようにする。</p> <p>2)□高見の干潟と磯の保全に関わる人・もの・ことに関わる中から問いを見出し、その解決に向けて予想や仮説を立て、情報を集め、整理・分析しながら考察し、自分が思い描く未来の高見の干潟と磯についての提言を、根拠を明らかにしながらまとめ表現することができるようにする。</p> <p>3)□高見の干潟と磯の保全に関わる人・もの・ことについての探究的な活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを活かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、進んで海の環境保全活動に参画しようとする態度を養う。</p>									
3.育成したい資質・能力	<p>〈知識・技能〉</p> <p>①高見の海には季節ごとに様々な生き物が棲んでいること、季節によって棲む生き物の大きさや数は違うこと、そしてそれらと環境との関わりについての概念を形成することができる。</p> <p>②地域の人々との関わりから、地域に貢献したり、向島の環境を守ったりするために関わっている人々の思いや願い、工夫や努力を知ることができる。</p> <p>③自分たちが地域とつながり、地域の人々と関わり合いながら過ごしていることについての自分の思いを持つことができる。</p> <p>④課題の解決に向けて、事象を関連付けること、比較すること、分類すること等ができる。</p> <p>⑤干潟と磯の生き物の様子や環境を比べたり、季節ごとの違いを比べたりしながら観察・記録することができる。</p> <p>⑥探究的な学習の良さを理解することができる。</p>			<p>〈思考・判断・表現〉</p> <p>①海の環境をよりよくするための活動に向け、課題を設定することができる。</p> <p>②予想を基に解決の方法や手順を考え、見直しを持って計画を立てることができる。</p> <p>③保護者や地域に向けて発信するために必要な情報を追加収集・蓄積し、問題状況や関係を把握することができる。</p> <p>④多様な情報から課題解決のために特徴を見つけ、自分の考えの根拠となる情報を選択することができる。</p> <p>⑤相手意識や目的意識を持ち、他教科で学んだことを生かしながら分かりやすくまとめ表現することができる。</p>			<p>〈主体性〉</p> <p>①探究的な活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを見直そうとすることができる。</p> <p>②自分の意思で、目標を持って課題解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。</p> <p>③探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や希望を持つとすることができる。</p> <p>④探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとするすることができる。</p> <p>⑤自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。</p> <p>⑥探究的な活動を通して、進んで地域や実生活の問題解決に取り組もうとしたり、地域と関わるために活動に参画しようとしたりすることができる。</p>			
4.単元構想 第3学年 17人 <テーマ>高見の海 調査隊										
単元目標	高見の海調査隊～春と夏の生き物～			高見の海調査隊～秋と冬の生き物～			高見の海調査隊～高見の海の生き物～			
	<p>【知】高見の海には様々な生き物が棲んでいること、それらと環境との関わりについての概念を形成することができる。</p> <p>【技】見つけた生き物について生活科や理科で学んだことを基に記録し、名称や生態などについて調べることができる。</p> <p>【技】課題の解決に向けて、事象を関連付けること、比較すること、分類すること等ができる。</p> <p>【思】海の環境をよりよくするための活動に向け、課題を設定することができる。</p> <p>【思】予想を基に解決の方法や手順を考え、見直しを持って計画を立てることができる。</p> <p>【表】集めた情報を根拠にし、自己の考えを他教科で学んだことを生かしながら表現することができる。</p> <p>【主】探究的な活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを見直そうとすることができる。</p> <p>【主】自分の意思で、目標を持って課題解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。</p> <p>【主】探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとするすることができる。</p> <p>【主】自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。</p>			<p>【知】地域の人々との関わりから、地域に貢献したり、向島の環境を守ったりするために関わっている人々の思いや願い、工夫や努力を知ることができる。</p> <p>【知】高見の海には季節ごとに様々な生き物が棲んでいること、季節によって棲む生き物の大きさや数は違うこと、そしてそれらと環境との関わりについての概念を形成することができる。</p> <p>【知】自分たちが地域とつながり、地域の人々と関わり合いながら過ごしていることについての自分の思いを持つことができる。</p> <p>【技】見つけた生き物について生活科や理科で学んだことを基に記録し、名称や生態などについて調べることができる。</p> <p>【技】課題の解決に向けて、事象を関連付けること、比較すること、分類すること等ができる。</p> <p>【知】探究的な学習の良さを理解することができる。</p> <p>【思】学期の学習をもとに、海の環境をよりよくするための活動に向け、課題を設定することができる。</p> <p>【思】予想を基に解決の方法や手順を考え、見直しを持って計画を立てることができる。</p> <p>【判】保護者や地域に向けて発信するために必要な情報を追加収集・蓄積し、問題状況や関係を把握することができる。</p> <p>【表】集めた情報を根拠にし、自己の考えを他教科で学んだことを生かしながら表現することができる。</p> <p>【表】探究的な活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを見直そうとすることができる。</p> <p>【主】自分の意思で、目標を持って課題解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。</p> <p>【主】探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとするすることができる。</p> <p>【主】自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。</p>			<p>【知】高見の海には季節ごとに様々な生き物が棲んでいること、季節によって棲む生き物の大きさや数は違うこと、そしてそれらと環境との関わりについての概念を形成することができる。</p> <p>【知】自分たちが地域とつながり、地域の人々と関わり合いながら過ごしていることについての自分の思いを持つことができる。</p> <p>【技】課題の解決に向けて、事象を関連付けること、比較すること、分類すること等ができる。</p> <p>【知】探究的な学習の良さを理解することができる。</p> <p>【思】解決の方法や手順を考え、見直しを持って計画を立てることができる。</p> <p>【判】保護者や地域に向けて発信するために、集めた情報から問題状況や関係を把握することができる。</p> <p>【判】多様な情報から課題解決のために特徴を見つけ、自分の考えの根拠となる情報を選択することができる。</p> <p>【表】相手意識や目的意識を持ち、他教科で学んだことを生かしながら分かりやすくまとめ表現することができる。</p> <p>【主】自分の意思で、目標を持って課題解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。</p> <p>【主】探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や希望を持つとすることができる。</p> <p>【主】探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとするすることができる。</p> <p>【主】自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。</p> <p>【主】探究的な活動を通して、進んで地域や実生活の問題解決に取り組もうとしたり、地域と関わるために活動に参画しようとしたりすることができる。</p>			
関連教科：国語「図書館へ行く」「メモを取りながら話を聞く」「調べて書こう、わたしのレポート」「書く人のくふうを考えよう」、社会「学校のまわり」、特別の教科 道徳「生命の尊さ」「自然愛護」	関連教科：国語「グループの合い言葉をかきよう」「室内の手紙を書こう」、理科「こん虫のかんさつ」、特別の教科 道徳「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」、「生命の尊さ」「規則の尊重」			関連教科：社会「市の様子と人々のくらしのつながり」、算数「わかりやすく整理して表そう」、特別の教科 道徳「感動・畏敬の念」						
19時間	21時間			14時間						
主な学習活動	<p>Q 干潟と磯はどのように違うの Q 干汐海水浴場の干潟ってどんなところだろう。 ・生活経験や生活科での学習をもとに予想を立てる。 ・実際に干潟を訪れ、どんな生き物があるか調べる。 Q 立花の磯にはどんな生き物が棲んでいるんだろう。 ・生活経験や生活科での学習をに予想を立てる。 ・実際に磯を訪れ、広島大学臨海実験所の方と一緒にどんな生き物があるか調べる。</p>			<p>Q 設定した未来の高見の海を実現するために、どんなことを調べたら良いだろう。また、調べたことを誰に、どんな方法で伝えたい見いだそう。 ・本時で、第3学年理科で学ぶ見方・考え方である「比較」を活用し、「干潟と磯の環境の違い」「季節の違い」「過去の違い」等の視点に自ら気付くことができるようファシリテートする。 ・環境との関連を調べるために、塩分濃度や海水温について定点観測していき、違いを調べていけるようにする。 ・発信については既習事項を参考に、地域向け、観光客向けをそれぞれ想定できるようファシリテートする。 Q 夏の干潟と磯はそれぞれ春と比べてどんなことが変わり、どんなことが変わらないだろう。 ・実際に干潟を訪れ、どんな生き物があるか調べる。 ・実際に磯を訪れ、広島大学臨海実験所の方と一緒にどんな生き物があるか調べる。</p>			<p>Q どうしてどちらの海にもごみが増えているのだろう。 Q 海をきれいにするために、地域の人々とはどのような工夫や努力をしているのだろう。 ・向島漁協の方々を始め、地域の人々が海の生き物を守るために環境保全に努めていることに気付かせることで、全校の海岸清掃活動につなげていく。 Q 高見の海のために、私達にはどんなことができるだろう。 ・話を聞いたことや毎年全校で行っている海岸清掃の経験を想起できるようファシリテートする。 Q 自分たちが設定した高見の海の未来を実現するために、高見の海に関わる人たちは何ができるだろう。 ・地域に住む人々ができること、海水浴や潮干狩り、バーベキューなど外部からやってくる人々に分けて考え、それらの人ができることについて考えさせる。</p>			
	<p>【技】見つけた生き物について生活科や理科で学んだことを基に記録したり、名称や生態などについて調べることができる。(ワークシート)</p> <p>【主】自分の意思で、目標を持って課題解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。</p> <p>【主】自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。</p>	<p>【知】高見の海には様々な生き物が棲んでいること、それらと環境との関わりについての概念を形成することができる。(記録・発言)</p> <p>【技】見つけた生き物について生活科や理科で学んだことを基に記録し、名称や生態などについて調べることができる。(ワークシート)</p> <p>【技】課題の解決に向けて、事象を関連付けること、比較すること、分類すること等ができる。(発言)</p> <p>【思】海の環境をよりよくするための活動に向け、課題を設定することができる。(発言)</p> <p>【主】自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。(行動観察・話し合い)</p>			<p>【知】自分たちが地域とつながり、地域の人々と関わり合いながら過ごしていることについての自分の思いを持つことができる。(成果物・発言)</p> <p>【知】探究的な学習の良さを理解することができる。(話し合い)</p> <p>【思】解決の方法や手順を考え、見直しを持って計画を立てることができる。(話し合い)</p> <p>【判】保護者や地域に向けて発信するために必要な情報を追加収集・蓄積し、問題状況や関係を把握することができる。(行動観察・発言)</p> <p>【判】多様な情報から課題解決のために特徴を見つけ、自分の考えの根拠となる情報を選択することができる。(話し合い・成果物)</p> <p>【表】相手意識や目的意識を持ち、他教科で学んだことを生かしながら分かりやすくまとめ表現することができる。(成果物・発表の様子)</p> <p>【主】探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や希望を持つとすることができる。(振り返り・キャリアログ・行動観察)</p> <p>【主】探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。(行動観察・振り返り)</p> <p>【主】自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとしたり、地域と関わるために活動に参画しようとしたりすることができる。(行動観察・話し合い)</p>					



1.助成事業名	高見の海 調査隊 ※「高見の川 調査隊」から変更	学校名	尾道市立高見小学校	助成番号	2022-7211-030
---------	--------------------------	-----	-----------	------	---------------

5.実際にを行った単元構成  
注)活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---

高見の海調査隊～春と夏の生き物～

【知】高見の海には様々な生き物が棲んでいること、それらと環境との関わりについての概念を形成することができる。  
【技】見つけた生き物について生活科や理科で学んだことを基に記録し、名称や生態などについて調べることができる。  
【技】課題の解決に向けて、事象を関連付けること、比較すること、分類すること等ができる。  
【思】海の環境をよりよくなるための活動に向け、課題を設定することができる。  
【思】予想を基に解決の方法や手順を考え、見直しを持って計画を立てることができる。  
【表】集めた情報を根拠とし、自己の考えを他教科で学んだことを生かしながら表現することができる。  
【主】探究的な活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを見直そうとすることができる。  
【主】自分の意思で、目標を持って課題解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。  
【主】探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする事ができる。  
【主】自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。

関連教科:総合24時間,理科5時間,社会3時間

高見の海調査隊～秋と冬の生き物～

【知】地域の人々との関わりから、地域に貢献したり、向島の環境を守ったりするために関わっている人々の思いや願い、工夫や努力を知ることができる。  
【知】高見の海には季節ごとに様々な生き物が棲んでいること、季節によって棲む生き物の大きさや数は違ふこと、そしてそれらと環境との関わりについての概念を形成することができる。  
【知】自分たちが地域とならなり、地域の人々と関わり合いながら過ごしていることについての自分の思いを持つことができる。  
【技】見つけた生き物について生活科や理科で学んだことを基に記録し、名称や生態などについて調べることができる。  
【技】課題の解決に向けて、事象を関連付けること、比較すること、分類すること等ができる。  
【思】探究的な学習の良さを理解することができる。  
【思】学期の学習をもとに、海の環境をよりよくなるための活動に向け、課題を設定することができる。  
【思】予想を基に解決の方法や手順を考え、見直しを持って計画を立てることができる。  
【判】保護者や地域に向けて発信するために必要な情報を追加収集・整理し、問題状況や関係性を把握することができる。  
【表】集めた情報を根拠とし、自己の考えを他教科で学んだことを生かしながら表現することができる。  
【主】探究的な活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを見直そうとすることができる。  
【主】自分の意思で、目標を持って課題解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。  
【主】探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする事ができる。  
【主】自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。

関連教科:総合27時間,社会7時間,学活1時間,学校行事1時間

高見の海調査隊～高見の海の生き物～

【知】高見の海には季節ごとに様々な生き物が棲んでいること、季節によって棲む生き物の大きさや数は違ふこと、そしてそれらと環境との関わりについての概念を形成することができる。  
【知】自分たちが地域とならなり、地域の人々と関わり合いながら過ごしていることについての自分の思いを持つことができる。  
【技】課題の解決に向けて、事象を関連付けること、比較すること、分類すること等ができる。  
【思】探究的な学習の良さを理解することができる。  
【思】解決の方法や手順を考え、見直しを持って計画を立てることができる。  
【判】保護者や地域に向けて発信するために、集めた情報から問題状況や関係性を把握することができる。  
【表】多様な情報から課題解決のために特徴を見つけ、自分の考えの根拠となる情報を選択することができる。  
【表】相手意識や目的意識を持ち、他教科で学んだことを生かしながら分かりやすく表現することができる。  
【主】探究的な活動を通して、自分の生活を見直し、自分の特徴やよさを見直そうとすることができる。  
【主】自分の意思で、目標を持って課題解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。  
【主】探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や希望を持つことができる。  
【主】探究的な活動を通して、異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする事ができる。  
【主】自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとすることができる。  
【主】探究的な活動を通して、進んで地域や家庭生活の問題解決に取り組もうとしたり、地域に関わるために活動に参画しようとする事ができる。

関連教科:総合19時間,国語8時間,社会10時間,算数10時間

学習活動の結果

○釣りや海水浴などの生活体験を想起させながら、干潟や磯について考えた。  
A 干汐海水浴場は潮干狩りで来たことはあるけど、立花の磯は行ったことがない。  
○広島大学附属臨海実験所の方と磯探検をする前に、どんな生き物がいるか予想を立ててから探検を行った。  
A 釣りで釣ったことがある魚は見つけることができそうだな。  
A 海水浴で行く干汐とは波の激しさや、岩の大きさが違うな。  
A クラゲがすごく多かった。いつもは8月くらいから増えるらしいけれど、今年は3月からいるらしい。どうしてなのだろう。

○干潟と磯を比べて、生き物のちがいを見つけた。  
A 干潟には貝がたくさんいる。  
A 磯で見つけたタコは干潟にはいなかった。  
○高見の海の将来像を考える。  
A ごみが多かったから、きれいな場所になって、生き物にとって住みやすい海になるといいな。  
A 最近、釣れなくなった魚がいる。いなくなったのかな。もしそうなら、高見の海に戻ってきてほしいな。



○考えた将来像を実現するために、どうしたらよいか考えた。  
A 季節ごとに生き物のちがいはあるのか、比べてみたいな。  
A 去年や一昨年とのちがいはあるのかな。  
A 調べるときに、先輩たちがつくった生き物図鑑やリーフレットが使えるそうだな。  
A 海浜清掃や地域のボランティア活動で、砂浜をきれいにしたことはあるけど、それ以外できれいにする人はいるのかな。

○生き物が生きるために必要なことを考えた。  
A 国語や理科で習ったように、えさ、すみか、子孫を残す場所がないと生きることができない。  
A 今年は雨や台風の影響はあったのかな。もしかしたらすみかが危険な状態になっているかもしれない。  
A 今年の夏は暑かったけれど、クラゲが早くから多かったことと関係はあるのかな。

○環境保全に取り組む企業の出張講義を受け、環境について考えた。  
A 家で使った洗剤は川から海に流れていんだね。川や海をなるべく汚さないようにするために工夫していることも分かったよ。  
A 水は海でつながっているから、一人一人が気をつけないといけないね。僕たちができることはないかな。  
A 海の温度が高くなっているということは、昔住んでいた生き物が今は住みにくくなっているのかもしれない。  
○ごみの問題から、学校行事である海浜清掃につなげた。



○地域の水系から、水を通して川と海がつながっていることについて考えた。  
A 高見山の方から水が流れてきている。  
A 使った水が水路を通り、川に流れて、そのまま海に注がれているのかな。  
○高見の海の将来像の実現のために、自分たちにできることを考えた。  
A 高見の海は、これからも釣りができるほど、たくさん生き物が住む海でいてほしい。  
A ごみのないきれいな海にしたい。  
A 生き物が住みやすいように清掃する。  
A 釣りや潮干狩りなどで遊びに行く回数を増やして、行ったときにいつも掃除して帰ったらいいかな。



○秋と冬の磯を比べて、生き物の変化について考えた。  
A 魚と同じで、海藻にもたくさんの種類がある。  
A 冬は魚よりも海藻の方が多いように感じるけど、どうなのかな。  
○干汐の海の塩分濃度と温度を調べた結果をまとめる。  
A 塩分濃度はほとんど変わらなかったけれど、温度は2月になると低くなっている。  
A 大学の先生が「今年はいつもより海水温が低いから、海藻がまだあまり育っていない」と言っていたけれど、干潟も磯と同じように低いね。やっぱり水はつながっているんだね。  
A 冬でしか調べられなかったから、一年を通して調べてみたいな。



○海藻を押し花のようにしてしおりを作り、卒業する6年生へプレゼントした。  
A 6年生が喜んでくれてよかった。  
A 海藻は食べるだけでなく、かわいくアレンジもできるね。  
A 季節ごとにちがうしおりを作れそうだな。  
○これまでに調べたり考えたりしたことを伝えた。  
A 立花の海の生き物について、干汐の塩分濃度と温度についてまとめられるね。  
A 生き物図鑑だけでなく、棒グラフや、海や川の絵を入れるとわかりやすいね。



6.得られた成果  
・海や海に生息する生き物について調べるだけでなく、そのことから、水を通して人と海に関連する環境問題について課題意識を持ち、課題解決のためにできることを実践しようとする一人一人の意識が高まった。  
・水生生物の生育状況と水資源の環境、それを取り巻く暮らしの変化を関連付けて児童一人一人が主体的に考えることで、それぞれの概念を形成することができた。  
・児童が探究的な活動を通して、水や海を取り巻く環境の様々な問題や実態を実生活と置き換えたり、他教科・他学年とのつながりを意識しながら思考・判断したりする力がついた。  
・高見の海の未来について、各教科の既習事項から自分なりの表現方法を用い、具体例を挙げながら書く力がついた。  
・新しく購入した塩分濃度計や防水カメラを使って塩分濃度や水温、水の中の生き物の様子など、普段調べる機会がない事柄を調べることができ、児童にとって貴重な体験とすることができた。また、これらを活用して定点観測をすることができたので、来年度以降の第3学年が持続して取り組む。

7.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果  
・本校の児童は、海や川を身近に感じながら生活しているので、河川に着目して学習していくことで問題や改善策などを見いだしやすいと、課題を発見・解決していく能力が養われた。また、身近な事柄であるため、児童は興味・関心を持ちやすく、主体的に活動することができた。  
・社会科では、市の土地や人々の移り変わりを調べている。その中で、川や海は今と昔の比較対象として取り上げやすく、河川を題材にしたことで、土地を比べたり、そこから新たな発見や予想を立てたりしていた。  
・河川教育で海の環境について学習することがSDGsについて考えることにつながり、集会発表では3Rについて意欲的に調べてまとめ、発表することができた。

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7211-030	高見の海 調査隊 ※「高見の川 調査隊」から変更	尾道市立高見小学校



学習活動名：干汐探検

日 付：4月21日

見られた子どもの姿

高見小学校から一番近くの干潟である干汐にはどんな生き物がいるのかを調査した。海水浴や潮干狩りをするなど児童にとって関わりが深い場所ではあるが、魚類だけでなく、海藻や貝類など、初めて見る生き物がいることに気付くことができた。また、干汐には段入川の河口があるので、海と河口付近の様子について、双方を比較しながら、水の透明度の違いや砂の粒の大きさの違いなど、様々な発見をしていた。



学習活動名：海藻のしおり作り

日 付：2月13日

見られた子どもの姿

立花の海で採れた海藻を使ってしおり作りを行った。海藻は色で分類されることや、水温によって海藻の色が変わることなどを知り、子どもたちは驚いていた。夏と秋に磯探検へ行き、生息する生き物の違いなどについて調査したので、冬の海の様子や生き物について知ることができた。また、魚類と海藻類の生態について比較する中で、季節によって見られない魚がいる一方、海藻は一年中見られるものが多いことに気が付くことができた。





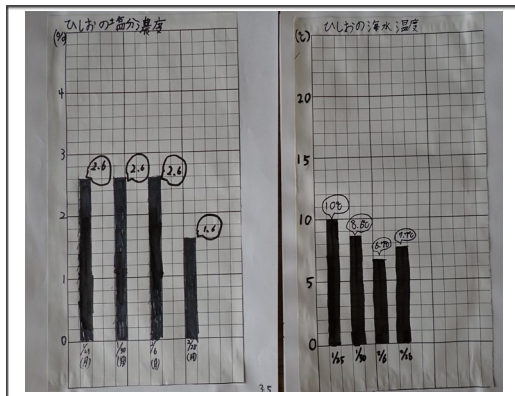
学習活動名：まとめの小冊子作り

日 付：3月10日

見られた子どもの姿

総合的な学習の時間で体験したり、調査したりしたことをまとめる活動を行った。全部で3つのグループに分かれ、生き物を図鑑のようにまとめたり、昔と今の海の違いや、環境問題に取り組む企業についてまとめたり、干汐の海水温度や塩分濃度をまとめたりした。算数科で使った棒グラフや、理科で学習した生き物の特徴、社会科で昔と今を比較したことなど他教科との関連づけをしながらまとめることができた。

また、児童が自主的に、相手に伝わりやすくするためにはどうしたらよいかを考え、絵を描いたり色を付けたりするなど工夫していた。



注) 写真は校外や学校・教室内での学習活動ごとに添付してください (枚数が多くなくても、また複数ページになってもかまいません。)



助成番号	助成事業名	学校名
2022-7211-030	高見の海 調査隊 ※「高見の川 調査隊」から変更	尾道市立高見小学校

主な実施箇所 向島干汐海水浴場近辺及び広島大学附属臨海実験所近辺



助成事業の主な実施箇所

地図出典：国土地理院地図・空中写真閲覧サービス  
<https://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>

尾道市立高見小学校 河川教育・水教育 各学年年間指導計画案

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全校	地震津波避難訓練 河川教育①⑤	南極の水見学 水教育					地域貢献活動 河川教育①					
6	高見探検隊 ～江府島探検をしよう～ 河川教育②				日本の文化にふれよう		高見探検隊 ～向島のよさを再確認しよう～		高見探検隊 ～自分の生き方を見つけよう！～			
6年理科	自然とともに生きる① 1. ものが燃えるしくみ⑧★総合的な学習の時間	1. ものが燃えるしくみ① 2. ヒトや動物の体⑩◎単元開発 ★国語	3. 植物のつくりとはたらき⑧ 私たちの地球(1) 4. 生物どうしのつながり②	私たちの地球(1) 4. 生物どうしのつながり⑤ これまでの学習をつなげよう① 自由研究①	自由研究① みんなで使う理科室② 5. 水よう液の性質⑧	5. 水よう液の性質⑥ 河川教育⑧ 6. 月と太陽◎★単元開発	7. 大地のつくりと変化⑪	7. 大地のつくりと変化⑤	8. てこのはたらき⑩★算数	9. 発電と電気の利用⑫	9. 発電と電気の利用⑫ 私たちの地球(2) 10. 自然とともに生きる⑤	
5年総合	高見の川調査隊 河川教育②③⑥⑦⑧⑬⑰				福祉体験プロジェクト～自分にできることを見つけよう～				一年間の学びを校内や家庭に発信しよう!		盛り上げよう! ～ええじゃんSANSA・がり～	
5年社会	●わたしたちの国土① 1. 世界の中の国土④ 2. 国土の地形の特色③	3. 低い土地のくらし・高い土地のくらし⑤ 4. 国土の気候の特色③ 河川教育⑤	5. あたかいた土地のくらし・寒い土地のくらし④ ●わたしたちの生活と食料生産① 1. くらしをささえる食料生産④	2. 米作りのさかんな地域⑧	3. 水産業のさかんな地域⑦ 4. これからの食料生産とわたしたち③	4. これからの食料生産とわたしたち② ●わたしたちの生活と工業生産(導入)①★算数、国語 1. くらしをささえる工業生産③ 2. 自動車をつくる工業④	2. 自動車をつくる工業③ 3. 工業生産を支える輸送と貿易⑤ 4. これからの工業生産とわたしたち④	4. これからの工業生産とわたしたち① ●情報化した社会と産業の発展(導入)① 1. 情報産業とわたしたちのくらし⑥	2. 情報を生かす産業⑤ 3. 情報を生かすわたしたち④	●わたしたちの生活と環境①★理科 1. 自然災害を防ぐ⑤ 2. わたしたちの生活と森林④	2. わたしたちの生活と森林② 3. 環境を守るわたしたち⑤ ●いかす①	
5年理科	自然を読みとく① 受けつがれる生命(1) ○花のつくり② 受けつがれる生命(2) 1. 植物の発芽と成長⑥	受けつがれる生命② 1. 植物の発芽と成長③ 受けつがれる生命(3)◎単元開発 2. メダカたんじょう③	受けつがれる生命③ 2. メダカたんじょう② 受けつがれる生命(4) 3. ヒトたんじょう⑤	受けつがれる生命④ 3. ヒトたんじょう② 天気の変化(1) ○台風と気象情報④ 自由研究①	自由研究① 受けつがれる生命(5) 4. 花から実へ⑨	これまでの学習をつなげよう① 天気の変化(2) 5. 雲と天気の変化⑧ 6. 流れる水のはたらき②	6. 流れる水のはたらき⑩◎★単元開発 河川教育⑪⑫⑬ みんなで使う理科室① 7. ふりこのきまり②★単元開発	7. ふりこのきまり⑤	8. もののどけ方⑫	8. もののどけ方④ 9. 電流と電磁石⑦	9. 電流と電磁石⑥	
4年総合	防災プロジェクト ～安心・安全な町づくりに向けて～ 河川教育①⑬⑰				高見の山調査隊 ～高見の植物を発信しよう～				二分の一成人式プロジェクト ～感謝の気持ちを伝えよう～			
4年社会	●わたしたちの県(導入)① 日本地図を広げて② 県の広がり④	県の広がり④ ●住みよいくらしをつくる(導入)① 水はどこから⑤	水はどこから⑥ 河川教育⑧⑨⑩ ごみのしよりと利用⑥	ごみのしよりと利用⑥	●自然災害からくらしを守る(導入)① 地震からくらしを守る⑤	地震からくらしを守る④ 河川教育⑥ ●きょう土の伝統・文化と先人たち(導入)① 残したいもの 伝えたいもの⑤	残したいもの 伝えたいもの④ 谷に囲まれた台地に水を引く⑥	谷に囲まれた台地に水を引く⑥	●特色ある地いきと人々のくらし(導入)① すずりをつくるまち・石巻市雄勝町⑦	国際交流に取り組むまち・仙台市⑦ 美しい景観を生かすまち・松島町③ 古いまちなみを生かすまち・登米市登米町③(選択)	美しい景観を生かすまち・松島町④ 古いまちなみを生かすまち・登米市登米町④(選択) いかす①	
3年総合	高見の海調査隊 ～春と夏の生き物～ 河川教育⑥⑧⑬⑱				高見の海調査隊 ～秋と冬の生き物～ 河川教育⑥⑧⑬⑱				高見の海調査隊 ～高見の海辺の生き物～ 綿育成プロジェクト ～コットンボールから素敵を広げよう～			
3年社会	●わたしたちのまち みんなのまち(導入)①★国語、算数、理科 ○学校のまわり③ 1. 市の様子③	1. 市の様子⑨	●はたらく人とわたしたちのくらし(導入)①★国語、算数、理科、外国語 1. 農家の仕事(選択)⑦	1. 農家の仕事(選択)④ 河川教育⑫	2. 店ではたらく人⑥	2. 店ではたらく人⑦	2. 店ではたらく人② ●いかす① ●くらしを守る(導入)①★算数 1. 火事からくらしを守る③	1. 火事からくらしを守る④	2. 事故や事件からくらしを守る⑥	●いかす① ●市のうづりかわり(導入)★国語① 1. 市の様子と人々のくらしのうづりかわり⑤ 河川教育②④⑫	1. 市の様子と人々のくらしのうづりかわり⑤	
3年理科	しぜんを見つめる① 1. 生き物をさがそう④ 植物を調べよう① 2. たねをまこう③	植物を調べよう① 2. たねをまこう① 3. チョウを育てよう⑧	3. チョウを育てよう① 植物を調べよう② ○植物の育ちとつくり③ 河川教育⑳	4. 風とゴムの力のはたらき④ 植物を調べよう③ ○花のかんさつ① 自由研究①	自由研究① 5. こん虫のかんさつ⑤ 植物を調べよう④ ○植物の一生①	○植物の一生③ 6. かげと太陽⑥	6. かげと太陽③ 7. 光のせいしつ⑦	6. かげと太陽② 8. 電気で明かりをつけよう⑥	9. じしゃくのふしぎ⑧ これまでの学習をつなげよう①	10. 音のせいしつ⑥ 11. ものと重さ⑦	○おもちゃランド②	
2年生活	◎大きくそだて わたしの野さい⑫				大きくそだて わたしの野さい 河川教育⑥⑬⑱⑳				町のすてき つたえ			
2年算数	●学びのとびら① 1. わかりやすくあらわそう [グラフとひょう] 2. たし算のしかたを考えよう⑧	3. ひき算のしかたを考えよう⑧ ●どんな計算になるのかな?② ○おぼえているかな?② 4. 長さを はかってあらわそう⑥	4. 長さを はかってあらわそう③ 5. 100より大きい数をしらべよう⑫ 6. 水のかさを はかってあらわそう⑧ 河川教育⑳	○おぼえているかな?② 7. 時計を生活に生かそう② ○おぼえているかな?②	8. 計算のしかたをくふうしよう⑤ 9. ひっ算のしかたを考えよう⑩ 10. さんかくやしかくの形をしらべよう④	10. さんかくやしかくの形をしらべよう⑥ 11. 新しい計算を考えよう⑩	11. 新しい計算を考えよう⑫ 九九ビンゴ① 12. 九九をつくらう⑦	12. 九九をつくらう⑩ ○おぼえているかな?②	13. 1000より大きい数をしらべよう⑪	14. 長い長さを はかってあらわそう⑥ 15. 図をつかって考えよう⑤ 16. 分けた大きさをしらべよう⑤ ○おぼえているかな?②	17. はこの形をしらべよう② ●計算ピラミッド② ●2年のふくしゅう⑬	
1年生活	テーマ 高見の恵みをつかったあそびづくり～たがみのにからものをいっぱいみつげよう～ 高見のわんぱくたんけんたい(35)(D)(18)自然愛				◎高見のあきをたのしもう(15)[か] あきとあそぼう				高見のふゆとあそぼう(16)			
	◎げんきにそだて わたしのはな ・たねをまこう ・世話と観察 ・花を楽しもう ・種とり ・みんなにつたえよう ・なかよししようかいしよ				生きものとなかよし(7)(D)(17)生命尊重)河川教育⑥⑬⑱							
	がっこうだすきあいうえお⑥ いくぞ! がっこうたんけんたい⑤	いくぞ! がっこうたんけんたい⑤ げんきにそだて わたしのはな⑥	あそびばにでかけよう⑥ なつと なかよし⑥	生きもの大すき⑧ げんきにそだて わたしのはな⑥	あきとなかよし⑬	ひろがれ えがお⑩	ふゆとなかよし⑪	★もうすぐ2年生⑰				



# 河川教育・水教育について

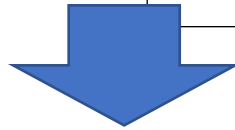
研究部

## 学習指導要領総則

「生きる力」の「豊かな心」  
体験活動，多様な表現や観賞の活動を通して，豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実  
「何ができるようになるか」

## 河川教育・水教育の内容（※下線部が本校実施可能内容）

- ・治水・防災
- ・水資源開発
- ・食料（農業・漁業）
- ・エネルギー
- ・生態系
- ・歴史・文化
- ・グローバル社会
- ・地球環境問題



河川教育・水教育を実施することで育成できる資質・能力（ここでは、「豊かな心」のみ記載）  
もちろん河川や水に関する知識や技能も習得できる。（参考：河川財団「水教育ガイドライン」）

- ・水の冷たさや美しさなどの感性
- ・流れる水の力を実感することでの水の力に関する感性
- ・生物の多様な生き様から学ぶ知識や生命や自然の素晴らしさ
- ・他者への視点
- ・他者への配慮
- ・集団で協働し，解決することで関わり合う力，主体性
- ・自分の意思を決定するという主体性
- ・注意事項を守り，活動に取り組むという安全性
- ・公共のものを大切にし，集団活動のルールを守るという社会性
- ・目的や目標を達成しようとする挑戦や向上心

※下線部は本校で重点的に育成する資質・能力「主体性」「関わり合い」と大きく関連しています。今年度河川教育・水教育を実施するにあたり，上記のうち下線部に加えてどの資質・能力の育成を目指すかみなさんといっしょに考え，今後の方向性をより明確化していきましょう。

今後の河川教育に向けて（金沢先生の助言を受けて9月15日に修正+）

研究主任 橋本

1 目標

段入川流域及び高見山から流れる水、高見の海に関わる自然環境や人々の生活との繋がりについて、実際に見たり聞いたりする体験活動を通して児童に五感で感じ取らせることで、自然環境の保全活動への意識を高め、自分が取り組めることを考え、実践していく。

2 実施計画

・3年生を中心に、目標にあるとおり環境をテーマに探究していく

